



松本さんが経営するサロン「Future Therapy」があるリゾートホテルのプール



サロンのスタッフと松本さん

現地では民間医療保険も適用される

{ リメディアル マッサージとは? }

松本さんが提供している「リメディアルマッサージ」について伺いました。

「洋服でたとえると、マニュアル通りのマッサージが既製服であるの比べ、リメディアルマッサージは、個人個人の症状、ニーズにあわせたオーダーメイドの服（セラピー）を提供することと言えます。そのためには、セラピストがいるいろいろなテクニックの引き出しを持ち、個々の顧客に合わせてその引き出しを開け、施術を行わなければなりません。体の中で不調を起している部分を改善していくことを目的としているのです。オーストラリアでは、民間医療健康保険制度でカバーできるほどその地位を確立しているセラピーです」(松本さん)



Marty Matsumoto (Matsumoto Naohisa)

前職 東京の外資企業勤務
年齢 53歳 セラピスト歴 13年
米国のCMA (経営管理学修士号) 取得後、帰国、日本のトップ企業等で活躍後、オーストラリアへ渡りセラピストとなる。
英国IFA・ITEC認定セラピスト、豪州AAMT認定リメディアルセラピスト、他、Future Therapy主宰、WATEC代表。

「でも、いざ入学してみると、まわりはすべて女性。しかし、私が男性でも皆は温かく自然に接してくれました。入学後は、本当にマッサージが自分でできるのか、正直、不安でした。でも、学校の先生がとにかく褒めるのが上手で、「あなたはセンスがある」とか、「一手の感触が素晴らしい」とか、うまくおだてられ、学校ではいつのまにか「ミスターマッサージ」と呼ばれるように。卒業間近に、ITECの

スクール卒業後に開業し、現在はゴールドコーストにて、「Future Therapy」という名前での、リゾートホテル内のサロンと、ショッピングセンター内のサロン2店舗を経営しています。セラピストとしては、自分を指名してくれる固定客を中心に週3、4回、それ以外のお客さまはスタ

ッフに任せています。また、優秀なセラピストを育て、オーストラリアの優れたリメディアルマッサージを紹介するために、現地でスクールを運営し、その講師としても活動しています。オーストラリアでは、誰もが平等にセラピーを受けられる土壌があります。私の知る限り、男性お断り」というサロンはありません。私も日本に帰国した時に、サロンに予約の電話を入れることがありますが、男性は受けつけていません」と言われることが多い。しかしながら、日本において、オイルマッサージに風俗的イメージを持つ人がいることも知っています。ですので、特に、女性がマンションの一室などで経営する個人サロンにおいては、安全面からいっ

でも致し方ないと思います。日本では男性セラピストが少ないようですが、そもそも男性は、非常に繊細な部分も持ちあわせています。優秀な外科医、技士、調理師、美容師なら、繊細さを要求される分野でも多く活躍しています。男性特有の大胆さと繊細さがうまくかみ合えば、男性セラピストによる素晴らしいセラピーが生みだせるでしょう。また、この世には、男性と女性という異なる性があり、お互いのエネルギーを必要としています。セラピーにおいても、異性セラピストの手による温かいエネルギーを感じてもらうことが、本来の道理になかった姿だと思います。日本でも、優秀な男性セラピストがどんどん育ってほしいですね。

ませんでした。とにかく新天地で生きていくため、家族を支えていくために必死でした。だから、自分が「男性」だからとか、全然気にしていません。学校側もまったく自然に男性生徒を受け入れてくれました。でも、いざ入学してみると、まわりはすべて女性。しかし、私が男性でも皆は温かく自然に接してくれました。

実技テストがあり、英国から試験官が来たのです。そして私のマッサージを見て、「こんな素晴らしいマッサージはこの20年間見たことがない」と言っていたことができた。その時、「これが天職なのかな」と思いました。

「男性は女性、女性は男性のエネルギーを必要としている」という名前前で、現在

「人生80年としたら、もう半分まできている。このまま同じ道を進むより、今までと違うライフスタイルを歩んでみたい」。そう考えたのが39歳の時でした。「どうせ歩むなら、好きな所に住んで、そこでできることをやろう」。そんな思いで、今まで培った職歴や地位などをすべて捨て去り、妻と3人の子供を連れ、南半球、オーストラリアのゴールドコーストに飛び込んだのが14年前でした。



(Part) 2 「セラピスト」という仕事

File 3

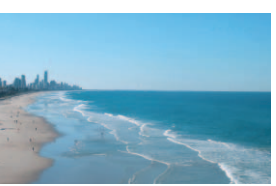
マーティー松本さん @ゴールドコースト



セラピーが学べるWEBTV「TNCC」にて、マーティー松本さんによるリメディアルセラピーの動画を配信予定！詳しくは160~161ページをご覧ください。
<http://www.therapynetcollege.com>

MBA取得のエリートからセラピストの道へ “ミスターマッサージ”と呼ばれて――

オーストラリアのゴールドコーストで、セラピストとして、指導者として活躍する日本人セラピスト・マーティー松本さん。前職は日本の外資企業で働くエリートでした。そんな松本さんがセラピストになるまでのストーリーと、オーストラリアのセラピスト事情について、ご自身に語っていただきます。
構成 本誌編集部 文 松本直尚



地位も職歴も捨てて――
「人生80年としたら、もう半分まできている。このまま同じ道を進むより、今までと違うライフスタイルを歩んでみたい」。そう考えたのが39歳の時でした。「どうせ歩むなら、好きな所に住んで、そこでできることをやろう」。そんな思いで、今まで培った職歴や地位などをすべて捨て去り、妻と3人の子供を連れ、南半球、オーストラリアのゴールドコーストに飛び込んだのが14年前でした。組織から抜け出した生身の体ひとつで一体何ができるのか？ 1年くらいは試行錯誤していました。どうせやるなら、人に喜んでもらえる仕事をしたい。そんな中、日本でブームになる前からアロマセラピーを勉強し、生活の中で実践していた妻が、「アロマセラピーの資格を取得してみたい」と言ったんです。それで、妻のために学校を探しているうちに、アロマセラピーマッサージと出会いました。「これだ！生身の体ひとつで、マッサージはできる。語学のハンデも少ない。国境も関係なく誰にでも提供できる。人の役に立てる」。妻の学校を探すつもりが、「自分も一緒にやる」ことに。そこに躊躇はあり